

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月09日

計画の名称	富士南地区都市再生整備計画							重点配分対象の該当					
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)												
交付対象	富士市												
計画の目標	大目標：『地域拠点を中心とした安全で便利な市街地環境づくりを実施し、住み続けたいと思うまちづくりの実現を目指す』 小目標：「産業の活性化と誰もが安全・便利に生活できる環境づくりが両立したまちづくり」 「地震や水害に強い安全に安心して住み続けられるまちづくり」 「地区まちづくりセンターを拠点としたいきがいとふれあい・たすけあいのあるまちづくり」												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,538	A	1,538	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25末)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・富士南地区の安全性・利便性の満足度を29% (H25) から50% (H30) に増加 市民アンケート調査による「道路の利便性と安全性」、「公共交通の利便性」の満足度の合計点 (道路およびコミュニティバスの安全性・利便性に対し「満足」、「やや満足」と回答した割合) 【事前アンケート設問④】	29%	%	50%
2	・富士南地区の災害に対する安全・安心満足度を33% (H25) から55% (H30) に増加 市民アンケート調査による「治水上の安全性」、「屋内運動場の安全性」の満足度の合計点 (治水および公共施設の安全性に対し「満足」、「やや満足」と回答した割合) 【事前アンケート設問④】	33%	%	55%
3	・富士南地区のまちづくりセンター等の活用者数を31,190人 (H24) から34,000人 (H30) に増加 富士南まちづくりセンターの年間利用者数および(仮)富士南公園の年間イベント参加者数の合計	31190人	人	34000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	富士市	直接	富士市	—	—	富士南地区都市再生整備 計画事業	A=590ha	富士市	■	■	■	■	■	1,538		—
											小計						1,538		
												合計						1,538	

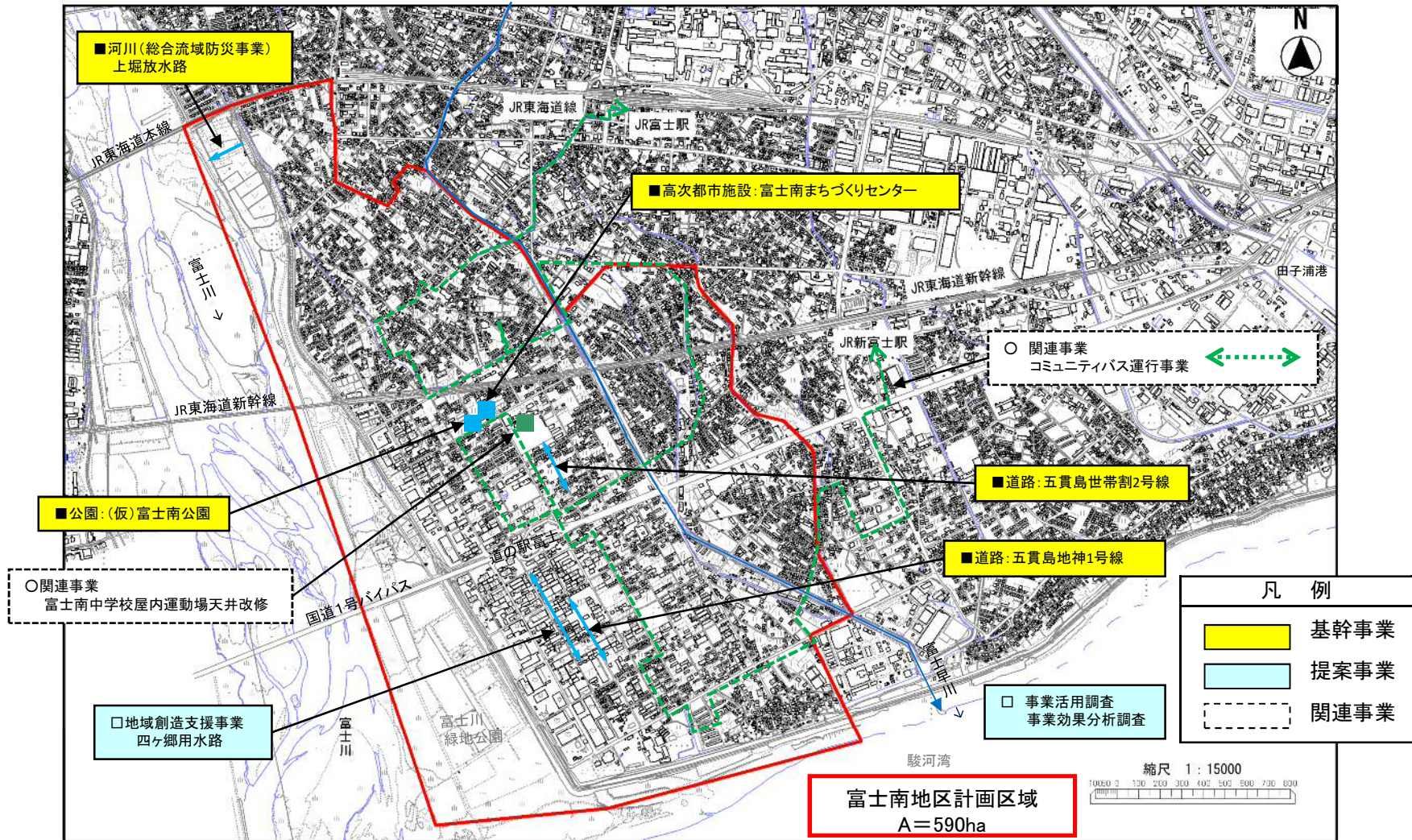
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28		
配分額 (a)	70	66	139		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	70	66	139		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	70	66	139		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

富士南地区（静岡県富士市） 整備方針概要図

目標 ●大目標 『地域拠点を中心とした安全で便利な市街地環境づくりを実施し、住み続けたいと思うまちづくりの実現を目指す』 ●小目標 「産業の活性化と誰もが安全・便利に生活できる環境づくりが両立したまちづくり」 「地震や水害に強い安全に安心して住み続けられるまちづくり」 「地区まちづくりセンターを拠点としたいきがいとふれあい・たすけあいのあるまちづくり」	代表的な指標	安全・便利に移動できるまちづくりの満足度（％）	29（H25年度）→ 50（H30年度）
		災害に対する安全・安心満足度（％）	33（H25年度）→ 55（H30年度）
		富士南まちづくりセンター等活用户数（人）	31,190（H24年度）→ 34,000（H30年度）



事前評価チェックシート

計画の名称： 富士南地区都市再生整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

